

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2022年9月号(年3回発行) 第160号

感謝の言葉

1997年4月、地域国際交流センター設立を考える会が発足し、翌1998年4月に任意団体ふじみの国際交流センター(FICEC)が産声を上げました。

わが子を育てるように歩んでこられた石井ナナエさんが5月にFICEC理事長を勇退されました。24年間のご功勞に感謝し、FICECを飛び立った外国籍の皆さんとの交流を広げることをお誓いいたします。石井さんには成人して歩み始めたFICECを今後も見届けて頂きたいと思ひます。

副理事長 永田信雄

理事長就任あいさつ

今年も暑い夏が続いていますが、ハローフレンズを手にとられたみなさまはいかがお過ごしでしょうか?

6月1日に理事長に就任させて頂きました室井伸幸と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。早いもので就任して3ヶ月が過ぎました。

前任の石井ナナエさんからバトンを受け取り、理事長になって事業運営責任者になり、大きな責任を感じています。

私たちの事業は地域に根差し、地域の皆さんやスタッフ関係者の皆さんに支えられて成り立っています。外国ルーツの方々にとって暮らしやすい社会であるよう、また、ふじみの国際交流センターがスタッフの自己実現の場となるよう活動してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

ふじみの国際交流センターの活動が外国籍、外国ルーツの皆さんのお役に立ち、国際交流が進むことを願ひ、微力ながら努力してまいりますので皆さんのご支援、ご鞭撻をお願ひ致します。

お時間のある時に事務所の方へもお寄り下さい。

理事長 室井伸幸



総会のご案内

埼玉県指定・認定非営利活動法人ふじみの国際交流センター

2021年度(2021年10月~2022年9月)総会

開催日時/2022年11月13日(日)14:00

会場/上福岡西公民館地下ホール

会員の皆様には後日、ご案内の通知を郵送いたします。

同行通訳養成講座を終えて

三宅万里子

2022年4月より毎月2回の周期で開講してきた講座も8月28日で無事終了しました。10名の受講生を限定とし、「コミュニティ通訳」を目指したものでした。「コミュニティ通訳」は比較的新しい通訳の分野ですが、地域に住む外国人に教育、司法、病院、行政などの分野でコミュニケーションの仲立ちをする通訳業務です。

カリキュラムは下記の内容に沿って行いました。

1. 通訳の種類と特徴：逐次、同時通訳、
2. 通訳者倫理、心得
3. 通訳のプロセス：情報聞き取り、理解、記憶して別言語に置き換える
基礎訓練：日英音声構造、語彙強化、即応力、音声認識力、意味掌握力、記憶力強化、メモ取り、文脈、要約、表現力
4. 基礎医療用語、行政表現、法令関係用語
5. トランスクリプション、シャドーイング、スラッシュ・リーディング
6. 逐次通訳のポイント・テーマ、話者の背景、ポイントの掌握

各章の基本理論を通して、実習は日英訳、英日訳の題材を使って訳だしの実習体験を実行しました。題材は日本文化、医療、世界経済、スポーツ等広範囲にわたって演習し、全員が語彙力、表現力をつける講義の内容としました。

受講生たちからは次のような感想をいただきますので、いくつかご紹介します。

30代の受講生：「同行通訳としての大事なポイントやコツを学ぶことができた。今後の仕事に活用したい。」

40代の受講生：「一人で勉強するよりも、緊張感を以て発表の場があったのがよかった」

40代の受講生：「自分のモチベーションとブラッシュ・アップになった。」

60代の受講生：「英語を英語のままで理解することに慣れていても、通訳者としてきちんと日本語にす



ることに慣れていなかったのも、とても良い練習になった。」

受講生全員がそれぞれのバックグラウンドをお持ちでした。日本語教師の資格をお持ちの人、要約筆記記者の資格を持ち、JICAでグアテマラで活躍された人、正看護師で県警や検察で通訳をされた人、中国ルーツで日本語、中国語、モンゴル語が堪能な人、翻訳会社で語学経験を積まれた人、日本語教師の資格を持ち、3年間ベトナムに在住し、帰国後行政書士の資格を取得し外国人クライアントと接している人、医療通訳経験者で通訳案内士の資格保持者の人、英語好きで独学で英語を学び外国人に友人がたくさんいる人などなど……

受講生の皆様5か月間の講座大変にお疲れ様でした。この講座が、今後の皆様の活躍に少しでもお役に立ちますように！またふじみの国際センターに引き続きボランティアに携わっていただく方々、ありがとうございます、よろしく願い申し上げます。



2、3人のグループに分かれて通訳の練習をしています

「外国ルーツの子どものための絵コンテスト」 展覧会を開催しました

安銀柱

去年の春から企画した「外国ルーツの子どものための絵コンテスト」の展覧会が三芳町藤久保公民館、ふじみ野市役所ロビー、富士見市キラリ☆ふじみにて行われました。

私たちの町に住んでいる外国ルーツの子ども達の頑張っている姿を沢山の市民・町民に観てもらう良い機会となったと思います。

このコンテストには小学生以下から高校3年生まで、アメリカ、韓国、台湾、中国、ネパール、マレーシア、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ベトナムなど10か国の33名の子供たちが参加して、46点の作品が集まりました。



新しい色でこれから彼らの前に広がる画用紙いっぱい思い思いを塗ってほしいです。

子どもの成長は早いです。外国ルーツの子ども達もこの日本で育ちこの社会の一員として生きていきます。彼らが元々持っている色と日本で見つけた色を混ぜあわせ、もっと豊かで多様な色でこの社会を色塗りしてくれることが楽しみです。

集まった作品はFICECのスタッフ会議の中で審査をして、11月13日日曜日に予定されている総会にて表彰式を行う予定です。そして、全作品と各展覧会で集まったメッセージを載せた作品集を発行する計画です。



アニメのキャラクターや故郷の景色、日本の風景や電車、自画像など、いろんなジャンルの作品があります。きっと今もっとも自分の興味があるものを描いてくれたはずです。

母国の風景の絵を描きながら、来日する前、友達と遊んでいた時を思い出してたのかなと思ったたり、自画像を見ながら自分を見つめている思春期の少女が自分に自信をもって飛び立ってほしいと思ったり、また富士山や電車の絵を見て彼らが日本へ来てきっと富士山や電車が一番印象に残ってるんだなと思いながら、絵を描いた子どもより私の方がいろんな想像して楽しかったです。

日本語が少し出来なくても、生まれた所が日本じゃなくてもアニメキャラクターが好きで公園で友達と遊ぶことが大好きな彼らはこれからここ日本で育って、日本で生きていく大事な宝です。

色んな国から持ってきた色と、日本で見つけた





スタッフ紹介①

地域の一員になれるように

塚本 秀樹

40年以上働いた会社を退職して、さて、なにをすべきかと半年ほど身辺整理？をしながら、思い浮かばない日々を過ごしていたところ、日本に滞在している外国人の生活相談や日本語を教えているFICECさんのサイトを見つけました。そして海外とのかかわりで何かできることがあるだろうかとの思いで、3年ほど前に扉をたたかせていただきました。

現在は、日本語教室で日本語を教える仕事を続けさせていただいています。始めてみたものの自国の言葉を教えるということが、いかに難しいかということを経験しながらも、実際にはことばの勉強だけでなく、日本での生活のことや、学習者の国の事情や習慣などを、身振り手振りを含めて会話をしたりと、むしろ脱線することが多く、楽

しい時間を過ごすことができている。しっかりとした教え方を学ぶべきとそれなりに勉強を試みてはいますが、指導方法は自由で学習者との相性でやらせていただいているため、教える側も学ぶ側も居心地のよさを感じながら教え、学ぶことができる場所になっているのではないかと思います。

センターでは、子供の日本語を含めた学習や生活相談をされており、それぞれに携わる先輩方の専門的で真摯に対応をされている姿には日々敬意を表するとともに、自分の携わる領域の狭さを痛感しています。今後はみなさんのお役に立てることが少しでも増え、地域の一員となれるよう“希望に起き、愉快地働き、感謝に眠る。”で頑張っていきたいと思います。



スタッフ紹介②

文化の案内人の存在に感謝..

大野 渉

コロナ禍で在宅ワークが始まったことで、企業勤めの身ではありますが、自宅のあるふじみ野中心の生活を送っています。生活環境が変化したこの機会を利用して、前々から興味があった多文化共生の支援をしたいと思っていたところ、ふじみの国際交流センターと出会いました。

支援への興味を持ったきっかけは、海外拠点の同僚でした。その同僚は私の韓国出張の受け入れ担当として、オフィスを案内してくれたり、昼も夜も食事に誘ってくれたり、とても親身になってサポートしていただきました。実は、言葉の壁や孤独感から、当初は不安だらけの出張でしたが、同僚のおかげで充実した時間を過ごせました。その時に聞いた話ですが、韓国は皆で食事をとることが一般的で、一人で食べることは珍しいようです。文化の違いを聞いた私は、異文化の面白さを知ると

共に、その国の文化の案内人の存在にすごく感謝をしました。

その後も、国内外で様々な人達と出会い、私が困り事を抱えるたびに、周囲の人達に助けていただきました。支援して下さった人達に共通する点として、お互いの異なる部分をなくそうとするのではなく、尊重しあえる関係を築こうとされていたように思います。

こうした体験を通じて、私がこれまで受け取ってきた支援を、いつか誰かに恩送りしたいと思うようになりました。ボランティア活動を通じて、身近なところで困り事を抱える人達を、微力ながらも応援をしていきたいと思っています。

ZOOMで日本語をはなそう

毎月2回、土曜日の午後8時から一時間、ZOOMで日本語の会話をしています。

ご飯を食べたあとのリラックスした時間にスタートしていますので、途中からの参加もできます。飲み物も自由です。テーマは日本のお祭りの話や、日本語でよく使うオノマトペを学んだり、スリーヒントというゲームなどをしていますが、なにを話しても自由です。学習者が多い時は、ルームを分けて話したいことを少人数ですることでもできます。日本語教室に通えない外国人・ボランティアもオンラインならできるという希望があれば、土曜日の夜以外でもできるようにアンケートを実施しています。参加は自由です。(塚本)



Café FICEC Only English Café

皆さん、こんにちは。

FICECが6月からOnly English Caféを始めたことをご存じでしょうか。

月に一度ですが、日曜日の午後1時から50分の時間で英語でのおしゃべりを楽しむ時間を設けています。参加いただける人数は12名と若干少なめの定員となっていますが、3～4名のグループに分かれていただき、それぞれのグループで勝手気ままに英語でのおしゃべりをエンジョイしていただいています。この原稿を書いている時点で2回開催。それぞれ10名程度の参加を得ていますが、まだまだもう少し余裕がありますので、興味のある方は是非ご参加ください。英会話のレベルは問いません。

普段、英会話の勉強をしているが、中々その実力を試してみる機会がない、とか、英会話を通じて友達の輪を広げたい、とか、色々な目的での参加で大歓迎。英語を話す外国人も参加されることもありますが、こういった方々とのコミュニケーションで相互理解を深めてみるのも大いに興味深いことだと思います。もしあなたのお知り合いで英語を話す外国の方がおられましたら、是非誘ってみてください。色んな方のご参加をお待ちしております。

尚、Only English Caféは9月からの運営が少し変わります。

毎月第一日曜日の午後2時から90分間。時間が50分から90分に伸びますので、充分におしゃべりを楽しんでいただけます。

参加の予約は、TEL 049-256-4290まで。
(担当:安、清水)



私を支えてくれた方たち

日韓翻訳者 あんちゃんみさん

2011年のことでした。大きい地震が起きたばかりの4月、一番目の娘が日本の高校に入学しました。志木市にある細田学園。本来は寮から通わせる予定だったのを計画を変更して弟二人を連れて私も日本に入国しました。2011年の10月7日、私と子供3人の日本ぐらしは始まりました。長男は中学2年生、次男は小学2年生。

初めは、長く在留するつもりではありませんでした。しかし日本での生活が楽しくて1年ごとに延長しながら11年目を迎えることになりました。

私も日本に来て新しい仕事を始めました。日本の経済の情報を収集し、翻訳して韓国にFAXで送ることです。文字の翻訳は会話より得意だったので特に問題はありませんでした。

子供3人の世話をするだけで忙しいけれどもボランティア活動も続けました。その時住んでいた川口市の鳩ヶ谷公民館にある「がらがらどん」という人形劇サークルで手伝いをしました。主に保育園とか老人ホームでの公演でした。日本語もまだ通じない私だったのにみんなやさしく本当にやりがいが高まった大事な時期だったと思います。その活動は娘の学校の近所の志木市に引っ越ししてからも3年間続けました。

次に朝霞市のAISという国際交流会に参加し日本語の勉強をしました。大人から教えてもらったので丁寧な言葉に慣れるようになったとおもいます。

その間、娘は大学を卒業して韓国に帰り、長男は大学生になりました。問題は末子。中学生になったのにまだ漢字も読めなくなかなか日本語に慣れませんでした。私は子供と同じ中学国語の教科書を勉強しはじめました。

教科書の内容を話し合いながら興味を持たせるようにみちびきました。成功。

私には日本人の友達も増えました。やっと日本語の会話になれました。日本語の先生にもなった友達に対し恩返しの意味で韓国語の勉強会もつくりました。

ついに、日本での定着を考えることになりました。志木市周りには適当な物件が見つかりませんでしたので上福岡駅近くの中古住宅を購入しました。引っ越ししてあまりたたない時にテレビで



フォームの番組に上福岡の国際交流会FICECが映っていました。新しい環境での交流会を探していた私は躊躇なくFICECを訪問しました。センターの日本語の先生たちは私により深く、日本の文化に対して教えてくれています。

例えば尾瀬が自然のままに保護された背景には何の歴史があったかわかったし、池波正太郎の本を読みながら東京の昔ながらの風景も味わうし。

FICECは日本語の勉強会だけでなく色んな事に対応して多文化移民者を支えてくれます。私は10年以上多文化母子の生活をしました。私が日本の生活にこんなに馴染んでいたのはFICECのような国際交流会の支援のお陰だと確信します。

その間、会社にあまり集中して運営できませんでしたがこれからはもっと積極的に会社の仕事を増やそうと思います。娘のため始まった日本の暮らしだったのに、今は私の希望を育てる場所になっています。結局私たち4人を育ててくれた日本に感謝します。



ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただき、わたしたちの活動が今後も継続して行けるようになればと、切に願っております。ご理解ご支援をお待ちしています。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5

ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、

口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)

または、現金書留でお願いいたします。



広告

45周年の感謝を胸に、未来へ!

株式会社 吉岡は、2022年をもって45周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。スタッフ一同、皆様の御期待に添えるようより一層努力してまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますことをお願い申し上げます。



紙の総合商社
YOSHIOKA

TEL 049-253-4985 FAX 049-268-1500

〒356-0011 埼玉県ふじみ野市福岡561-3

MAIL: info@yoshioka-p.com URL: www.yoshioka-p.com

NSTG
New System Technology Global

(株)吉岡はエヌエスティ・グローバルIST(株)のグループ企業です。

○お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座: 00110-0-369511
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

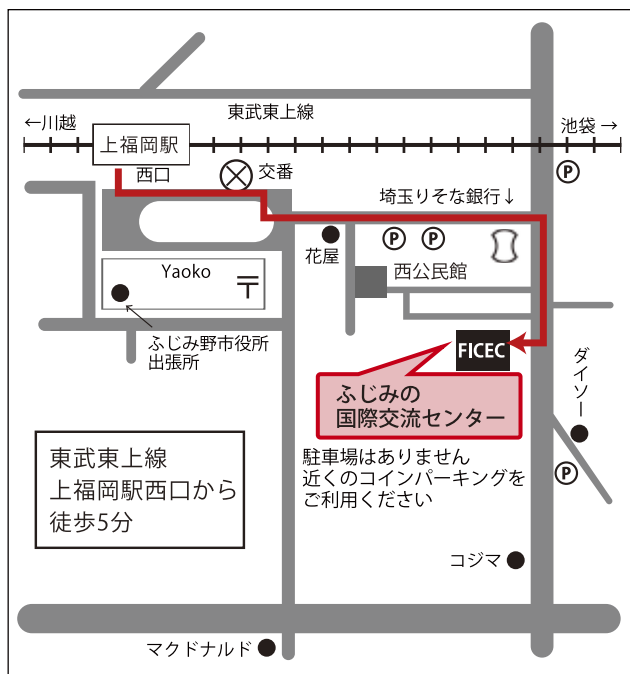
外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2021年8月1日～2022年8月15日(敬称略)

阿久津俊昭、浅葉幸作、穴沢エミリン、安部幸枝、新井順子、新井良司、荒田光男、安銀柱、石橋勝、伊藤愛、伊藤真弓、岩田愛子、上島直美、牛込亜紀子、宇野理子、尾浦邦彦、岡本直久、小熊千寿子、大室昭浩、柏木ひろみ、片倉ミン、鎌田かよ子、神田歩、神田順子、菊池久美子、北林ジャネット、木村不二雄、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、樟山直美、久野弓枝、倉田喜美代、栗嶋三千代、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、小林洋輔、駒形一夫、酒井有香、坂入智子、坂口久身江、佐藤茂、佐藤ナンタワン、佐藤義治、サラナンヨサポール、塩野圭子、塩野悟、芝山喜巳子、島田道子、清水昭彦、ジャパンミート1%還元、江科、進洗子、芹澤英樹、ゾシズン、高田真央、高崎千鶴子、高橋真梨子、田上佳代、武田和子、立麻医院・稲荷山典子、田中功、田村しの、チンテイヴァン、塚原延枝、坪田幹男、寺村璧如、戸塚成子、富田恵子、豊島亮介、洞山恵理、内部利明、永田信雄、仲野谷美恵、中村禎作、榎府憲太、沼田伊久俊、野澤弘子、野元弘幸、萩原教生、長谷川正江、濱田明彦、東入間地区遊技業防犯協力会、保坂佐紀恵、松尾里美、松本好正、マハルジャン、三橋博之、茂木久美子、森下理恵子、森田有美子、矢澤美紀、山中綾子、山畑博子、山本健一、吉井ジュリエッタ、(株)吉岡、吉永一男、吉松楓乃
 〈マンスリーサポーター〉

石井幸夫、石井ナナエ、遠藤慧子、太田政男、勝沼深、窪田和揮、小林久美、権田貴久子、佐藤直志、末吉智子、清家泰子、中嶋恵津子、中田好江、仲野公堅、中山浩子、野田恭三、野辺頼之、藤井みどり、八重樫紀久枝、吉田憲郎、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センターサービス案内		
外国人	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費
ゲスト派遣	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
講師派遣	多文化共生講座 ボランティア講座	20,000円+交通費 (活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 2,000円/ページ
	その他文書	A4 3,000円/ページ
通訳	半日5,000円+交通費	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日